



災害により姿を変えた街並み（前沢区五十人町）

の全壊等により促進住宅やアパート等でお暮らしの皆様には長期に渡り個別にしっかりと対応して参ります。放射能測定については、市独自で実施し情報を公開する事と致しました。子供達の安全な環境確保に向け万全を期して参ります。又、風評被害対策は県と連携ししっかりと対応して参ります。

**質問** 介護保険第5期（平成24年～26年）を計画策定中と思われま

**市長** 第5期中に高齢者数3万7千人を越え高齢化率は30・8%と見込まれています。現在特養ホーム入所希望者は554名おり、施

設の整備は進めながら保険料とのバランスも考慮しなければなりません。3000名の皆様にアンケートをお願いしました。住み慣れた地域で元気で長生きして頂く為に介護予防も視野に入れながら市民の皆様と相談し、安心安全な介護保険計画を策定し、豊かな老後が過ごせます様努力して参ります。



あきら 明  
すがわら 菅原

○衣川総合支所の建設について  
○災害時に対応できる総合支所の職員体制について

**質問** 衣川総合支所は、建築してから48年も経過し、老朽化が進んでいます。3年前の「岩手・宮城内陸地震」と今回の「東日本大震災」及びその「余震」によって建物全体が損傷し、庁舎の移転を余儀なくされました。移転した仮庁舎の保健福祉センターと社会体育館内の事務室は、使用目的が違い、建物の構造も総合支所庁舎になじまず、市民にとっても職員にとっても不便です。合併協定書に、総合支所方式で進めるとの取り決めもあるので、衣川総合支所庁舎の

建設は急務と考えます。期限を設けて早急に庁舎建設の計画を立て、進めるべきであると思いますが、市長の見解を伺います。

**市長** 新しい衣川総合支所の建設につきましましては、市民の皆様のご意見をいただきながら、将来の総合支所のあり方などを見通し、セミナーハウスなど公共施設のあり方も考慮し、今年度に予定している奥州市総合計画後期計画の見直しの中で検討して参ります。

**質問** 総合支所に配置されていた消防・防災担当職員が今年度から本庁に一本化されたため、有事の際の総合支所・消防署・消防団との情報の収集、指示・命令がスムーズに



移転を余儀なくされた衣川総合支所

**質問** ボランティア活動の現状と課題について  
○小・中学校連携推進上の課題について

**市長** この度の震災に対する復興支援として、ボランティア活動が、個人・団体含め千人に近い市民の



かつお 克夫  
さとう 佐藤

**市長** この度の震災では人事異動の直後で、避難所の運営、被災住宅の相談業務、被災証明の受付などが一部の職場に集中し全職員がバランスよく対応できませんでした。不手際・不具合は改善し、マニュアルを作成して「安心・安全の町づくり」のため努めて参ります。

スに伝わらなくなった感じがします。また4月7日の余震による家屋・農地の罹災・被災証明書の発行では、各支所の担当課の業務は大変なものでした。行革効果だけを目的とした職員の削減は「災害に強い町づくり」に逆行します。災害時に対応出来る職員の充実策と迅速に市民に対応出来る職員体制について市長の見解を伺います。